

日時：2022年8月29日（月）10:00～12:00

場所：ZOOMによるオンラインミーティング

#### 議事次第（案）

1. 第32回全国協議会での部会主催行事について（確認）
2. 第96回学会（宇都宮）での部会主催行事の企画について（検討）
3. 以降の学会・協議会での部会主催行事のテーマ候補について（検討）
4. 学会・協議会以外での現在進行中の企画
5. 業務担当理事との打ち合わせ結果の報告と、必要な対応について
6. 地方会行事ならびに他部会主催行事について
7. 代議員選挙への対応について（報告・依頼）
8. その他

#### 資料

1. 第32回全国協議会での部会主催行事について（確認）
  - 1) 産業衛生技術部会研修会（9月30日（金）10:00～12:00）

テーマ：「特化則の規制対象となった金属アーク溶接作業等の現状と対応」

座長：池田和博（北海道安全衛生研究所），川上貴教（北海道大学）

    - ・ 「特化則改正の概要」（北海道労働局労働基準部健康課 鈴木 力）
    - ・ 「溶接ヒューム濃度測定結果からみた現状と対応」（北海道労働保健管理協会 相澤和幸）
    - ・ 「自社におけるアーク溶接作業の現状と特化則への対応」（JR札幌病院 大房正知）
    - ・ 「フィットテストの規格と制度、国内普及の課題」（労働安全衛生総合研究所 吉川 徹）
  - 2) 拡大幹事会（9月30日（金）12:15～13:45）※ZOOMによるハイブリッド開催
  - 3) 産業衛生技術部会シンポジウム（9月30日（金）15:45～17:45）

テーマ：「自律的な化学物質管理への転換－産業保健分野の専門家の業務はどう変わるか？」

座長：中原浩彦（NAOSHコンサルティング），中村 修（筑波大学）

    - ・ 「新たな化学物質管理の概要」（厚生労働省 化学物質対策課長 安井省侍郎）
    - ・ 「自律下で選ばれる産業医像」（慶應義塾大学名誉教授 大前和幸）
    - ・ 「産業医・産業看護職の業務はどう変わるか？」（三井化学株式会社 統括産業医 土肥誠太郎）
    - ・ 「産業衛生技術職の業務はどう変わるか？」（橋本安全衛生コンサルタントオフィス 所長 橋本晴男）
    - ・ 「職業病事例からみたステークホルダーの役割と協力」（愛知学泉大学 久永直見）
  - 4) 産業衛生技術部会企画（自由集会）実地研修（10月1日（土）14:45～15:45）

「フィットテストを体験してみましょう」

座長：相澤和幸（北海道労働保健管理協会）

演者：相澤和幸（北海道労働保健管理協会），畑 豊和（興研株式会社 北海道営業所）
2. 第96回学会（宇都宮，2023/5/10～12）での部会主催行事の企画について（検討）
  - 運営事務局（関東地方会）より，9/20頃までに座長・演者を決定して欲しいとのこと。
  - 部会フォーラム，専門研修会ともに120分枠を確保。
  - 現在までに提案のあったテーマは下記の通り。
    - ・ 自律的化学物質管理について，具体的なノウハウや事例についての紹介（仮題）
    - ・ これからの騒音障害予防対策について（仮題）  
（騒音障害防止研究会とのコラボ企画）
3. 以降の学会・協議会での部会主催行事のテーマ候補について（検討）

第33回全国協議会（2023/10/27～29，甲府）

第97回学会（2024/5/23～25，広島）

第34回全国協議会（2024秋，関東地方会担当）

第98回学会（2025春，近畿地方会担当）

（参考）現在までに出ているテーマ案は下記のとおり。

- ・ 自律的化学物質管理（※継続的に取り上げる必要あり）
- ・ 溶接ヒューム【2021 関東】（※継続的に取り上げる必要あり）
- ・ 地元の衛生管理者等からの実践報告等（※全国協議会の専門研修会として、毎回実施すべき？）
- ・ 労働衛生管理学，マネジメント
- ・ 労働衛生における性別（ジェンダー）問題（差別と区別）
- ・ 事務所則・ビル管法における照度などの基準変更
- ・ これからの管理体制の変化
- ・ 騒音
- ・ フィットテスト
- ・ AI を利用した作業環境管理
- ・ マスクの正しい選び方と着用方法
- ・ 熱中症対策，寒冷対策等
- ・ リスクアセスメント（個人曝露濃度測定，検知管等を含む）
- ・ 転倒災害

（追記）企画運営委員会にて出た意見

- ・ 経皮吸収（化学防護手袋のガイドライン）⇒クリエイト・シンプル
- ・ クリエイト・シンプルによるリスクアセスメント
- ・ 混合物のリスクアセスメント
- ・ 溶接ヒューム⇒自律管理に移行した場合の対応（マンガン以外の曝露評価）

#### 4. 部会として現在進行中の企画等

- 1) 自律的化学物質管理に関する外部との協力，研修等
- 2) OHTA 資料の翻訳
  - ・ 和訳に際して，OHTA とは調整済み。
  - ・ NTT の AI 翻訳を契約する方向で，お試し中。OHTA の初級教育一式について，AI での仮訳済み。
  - ・ 今後の進め方について討議。
- 3) アジア産業衛生ネットワーク学会（ANOH）の団体会員としての加盟
  - ・ 団体会員としての加盟について，学会側から了承済み。
  - ・ 理事として中原先生，セクレタリーとして持田先生を予定。

#### 5. 業務担当理事との打ち合わせ結果の報告と，必要な対応についての検討

- ・ 7/30（土）に技術部会長と学会業務執行理事との意見交換会があった。要点は下記の通り。
  - 学会員，部会員としてのメリットを明確にして欲しい。部会主催行事等において，非学会員，非部会員も無料で参加できるというのは，会員になろうとするインセンティブの意味で問題があるのではないか。
  - 外部との協力についても，学会支援をタダ乗りする懸念がないよう，費用分担を明確にすべき。
  - ANOH への参加，OHTA 資料翻訳等については問題ない。
  - 部会員による作業はボランティアが原則で，謝礼を支払うのは違和感がある。
- ・ これを受けて，下記の対応を協議する必要がある。
  - 部会員にメリットのある，部会員になるインセンティブを感じる部会運営の検討
    - ◇ 部会や地方会等の主催行事について，会員と非会員で参加料金を差別化することを検討
    - ◇ 部会員専用の交流スペース，議論スペースの提供（例：Facebook に部会員専用グループを設置）
    - ◇ 部会主催行事，地方会主催行事等の資料について，一般公開（無料）と部会員限定公開を分ける（例：抄録は無料公開するが，スライド縮刷版や録画は部会員限定公開）
    - ◇ OHTA 翻訳資料等についても，資料そのものは一般公開とし，e-Learning を部会員限定とすることを検討。

#### 6. 地方会行事ならびに他部会主催行事等について

- 現時点までに把握している地方会主催行事は下記のとおり。
- ・ 九州地方会研修会 2022（10/22，会場＋ZOOM のハイブリッド）
  - ・ 第 46 回関東産業衛生技術部会研修会（12/17，現地＋オンラインのハイブリッド）
  - ・ 関東産業看護部会主催「化学物質管理の基本と実践へ向けて」（10/22，オンライン）  
演者：中原先生，グループワークのファシリテーターとして技術部会員数名が担当予定。

#### 7. 代議員選挙への対応について

今年は代議員選挙の年なので、各地方会にて対応をお願いしたい。

8. その他